

けいはんな view



いよいよ開幕

会期：2025年4月13日(日)～
10月13日(月・祝)



けいはんな万博2025
シンボルキャラクター
みらるる

けいはんな万博 2025

トップ対談

けいはんな万博2025運営協議会 共同代表
松本 紘 氏 × 堀場 厚 氏

けいはんな万博特集

けいはんな万博の見どころ紹介
けいはんなから夢洲へ

けいちゃん はんちゃん なあちゃんの社会見学…………… 木津川市

けいはんな人物図鑑…………… シンボルキャラクター制作者
木津川クリエイター部 松田 祥宏 さん

組織や世代を越えた議論、 答えのない答えを見つける カルチャーを根付かせたい

特別対談

けいはんなトップインタビュー

けいはんな万博2025運営協議会の共同代表を務める、国際高等研究所の松本紘所長と関西文化学術研究都市推進機構の堀場厚理事長に、けいはんなの果たすべき役割や課題、期待などについて、自由に語っていただきました。=本文中は敬称略=

進行：河合智明 関西文化学術研究都市推進機構常務理事 場所：けいはんなプラザホテル

関西文化学術研究都市推進機構 理事長

堀場 厚 氏



●けいはんな学研都市は、まちびらきから40年を迎えます。松本先生はこれまで、京都大学総長のお立場で京大農場の木津地区への移転に関われ、理化学研究所の理事長時代にiPS創薬を柱にしたけいはんな拠点を開所されました。現在は、国際高等研究所の所長としてこのまちをけん引していただいています。今のけいはんなに対しての想いをおきかせください。

松本 これほど多くの研究機関や企業が集まっている学研都市は、関西圏にはここしかありません。その割には相互交流が少ないのがもったいないと思います。自分の組織の中だけでは、発展は難しい。自由な交流

を通した雑談の中で新しいものが出てくる。自分というものをポンとさらけ出した時に、実は同じようなことを考えていたんだ、といったディスカッションが自然に始まるシステムをつくる必要があります。「テーマがなくても集まる」、高等研としてその役割の一端を担いたいと考えています。

●自由な研究を自由な立場で行うことは、奥田懇(けいはんな建設の基礎とされる、元京都大学総長 奥田東先生を中心とする、1978年発足の関西学術研究都市調査懇談会の通称)の提言にもその重要性が盛り込まれており、けいはんならしさとは、まさしくそういうところが求められていると思います。

堀場 国内では、多くの企業は新しい発想や技術をどう生み出すか、という悩みを抱えています。根底には、教科書通りの答えを出すことができ、成績が良くて扱いやすい人を評価する教育や日本の風潮に問題があるのではと思っています。社会ではすぐに答えの出ない、うまくいくかどうかわからないようなことにチャレンジする人財が求められています。そのためには、まずは組織や国という枠の外に出る経験が必要です。

松本 堀場さんは、アメリカで日本と違うところを見てこられた。われわれ日本人は、内にこもらず、もっと考え方の違いを肌で感じて欲しいと思います。

国際高等研究所 所長

松本 紘 氏

堀場 厚

ほりば あつし

1948年 京都府出身
1971年 米国オルソン・ホリバ入社
1977年 米国カリフォルニア大学大学院工学部電子工学科 修了。堀場製作所に帰任し、海外本部長、生産本部長、専務取締役を歴任
1992年～ 堀場製作所 代表取締役社長
2018年～ 同 代表取締役会長兼グループCEO
2019年 旭日中綬章を受章
2020年～ 関西文化学術研究都市推進機構 理事長、関西経済連合会 副会長
2025年～ 京都商工会議所 会頭

堀場 このままでは、日本は二流の国に落ちてしまうのでは、という危機感を持っています。欧米だけでなくアジア各国においても、特に経営者レベルでは、語学力だけでなく、異文化を理解した優秀な人が非常に多いということを認識すべきです。内にこもらず、外に出れば多くのことを学ぶのと同時に、たくましさを身に着けられる。海外である種の限界に遭遇したり、思いもかけない経験をしたりすることで、脳が刺激されるのかもしれませんが。社内でも開発のKeyとなる人財は海外を経験した人ばかりです。

●一方で、研究開発活動にとって、研究者の交流や、施設の共同利用

など、集積のもたらす効果はきわめて大きいと思います。けいはんなが、組織を越えた議論ができるエリアになると非常に魅力的だし、やらねばならないことだと思います。

松本 それは大事なことです。組織を出て、個人が違う個人と議論し、この地域から発信していくことを認め合う。世界に対して、この地域がどういう発信をするかが問われています。「人生とは何か？人間とは？」非常に大きなテーマから将来を見据えること、若い時からトレーニングしていくことが大切です。

堀場 どれだけ議論をいわず異文化を経験するかが、後の人生を決

める気がします。若い時に修羅場を経験せずスムーズに来てしまうと、今の自身のポジションを失うことを防ぐための努力がしなくなる。可愛い子には旅を…というのは、国を問わず必要です。そういうスピリットがけいはんなで生まれてくると、その存在意義が永遠に続いていくと思います。

●けいはんな万博に向けて、各組織の若い人たちがネットワークを作り、企画を発表する準備を手探りながら進めています。

松本 例えば10機関から人を出して、共通のテーマで議論する。自分の組織にはプラスにならなくても、そ

けいはんな万博2025とは

大阪・関西万博の開催時期に合わせて、「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマにけいはんな学研都市に立地する大学・研究機関・企業・文化施設等が、研究成果や施設を発表・展示・公開するイベントです。

①大阪・関西万博の効果をけいはんな学研都市へ波及させ(拡張万博)、交流と回遊性を生み出すこと、②大阪・関西万博の成果を受け継ぎ(ポスト万博)経済発展させること、③多くの異業種交流によるイノベーションを創出すること、④市民交流、情報発信、雇用機会の創出、マーケットリサーチなどにより、産官学住との新たな交流機会を創出すること等の効果を期待しています。

れでも構わないという度量を上層部に持ってほしい。どんな分野でもいいが、世界一になる、という気持ちでやる必要があります。そうすると会社に戻った時にその経験はすぐプラスになると思います。そういう場は日本にあまりない。議論は英語でやり、立場を越えてクリエイティブな行動ができる人を大事にするという文化を、この地域に作りたいですね。クリエイティブというのは失敗を伴うことです。それを恐れず進めることのできるシステムが必要です。

堀場 けいはんな学研都市が、異なる価値観の空気が流れ、出会いの場が数多く存在するエリアになるの

が理想です。設立当初には、そういう発想がありましたが、現実にはなかなか実現できていない。けいはんな万博が、そうしたカルチャーを築くきっかけになると考えています。万博の企画が直接的に生きるかどうかは別として、企画段階で違う企業体の人たちが互いに話し合うようになっているのは事実です。そうした文化がまさに今、現場では醸成されていると思います。プライドをもって、これをうまく育てていく努力が必要かと思えますね。

●最後に、ポスト万博も含めた今後のけいはんなにテーマを付けるとすれば。

堀場 「答えのない答えを見つける」でしょうか。

松本 「世代を超えたディスカッション」も大切ですね。

●本日は、貴重なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

**組織や世代を超えた議論、
答えのない答えを見つける
カルチャーを根付かせたい**

特別対談

けいはんなトップインタビュー

松本 紘

まつもと ひろし

1942年 奈良県出身

1965年 京都大学工学部電子工学科卒業

2008年～2014年 第25代京都大学総長

2015年～2022年 理化学研究所理事長

2018年～国際高等研究所所長

国際電波科学連合会長、首相官邸および

内閣府関係の各種委員、国立大学協会会長を歴任

2021年 瑞宝大綬章を受章



ポスト万博にむけて

2023年1月に内閣官房 国際博覧会推進本部が取りまとめる「2025大阪・関西万博アクションプランVer.5」において、大阪・関西万博の成果を実装する「ポスト万博シティ」の推進実施場所としてけいはんな学研都市が位置付けられました。

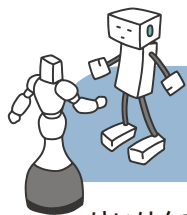
時同じくして、2025年がけいはんな学研都市の10年計画である「新たな都市創造プラン」の最終年であり、次期ステージプランの策定に向け検討中であり、ポスト万博シティとして、大阪・関西万博の成果を受けた実証実験の継続や実装が期待されています。

けいはんな万博 2025

「未来社会への貢献 ～次世代への解～」

4月13日の開会式を皮切りに、いよいよけいはんな万博がスタート!

4つのテーマを中心に、未来にふれるイベントを実施します



ロボット・アバター ICT(情報通信技術)

けいはんな地区で研究が進むロボット・アバター・ICT(情報通信技術)をテーマとしたイベントで、ひととロボットがともに暮らす社会の新たな1ページを開きます。

- ドローン&XRフェス
- アバター(遠隔操縦ロボ)の競技会
- 吹奏楽とアバターのパレード

ウェルビーイング

「健康」「食」「環境」「こころ」をキーワードに、直面する社会課題について、科学技術や文化の力を活用した解決策を提示し、体験できる機会を創ることで、ウェルビーイングの未来を考えます。

- 健康の見える化や食の未来を体感
- 次世代の環境エネルギー技術の公開



スタートアップ

新しい分野へのチャレンジに挑むスタートアップ企業を応援します。新しいサービスや商品のアイデアが実現可能か、けいはんな学研都市で大実験!

- 事業アイデア発表会
- 実験成果の発表展示



サイエンス&アート

「芸術は、人間のセンスと技術によって生み出されるもの」。科学技術とひとが協奏し、共創する新しい文化の形をお楽しみください。

- 未来を体感!参加型科学イベント
- 研究者、哲学者、芸術家などの講演会



オープンラボ・テックツアー

けいはんなの企業、研究所が研究施設を開放。「科学技術のおもしろさ」と「けいはんな学研都市～周辺地域の歴史・文化・自然」を体験する訪問型イベント。



ポスト万博に向けた若者向けイベント

きょうと国際学生サミット・けいはんな地球環境ユースサミット(8月開催)、けいはんな大学サミット(9月開催)等を通じて、若者の意見を閉会式の「けいはんな宣言」に織り込みます。

最新情報は
WebをCHECK!



<https://keihannaexpo.org/>



4月～6月のイベントの一部をご紹介します！



4/13(日)

開会式

📍 けいはんなプラザ

けいはんな万博を機に作曲された「飛天の奏～けいはんなSTORY～」の演奏、「日時計～けいはんなハーモニー」の合唱、見どころ紹介、そして横山由依さんと子どもたちにけいはんな万博への期待を語っていただきます。また、会場外では「和太鼓演奏」などのサイドイベントや地元スウィーツの出店も予定しています。



京都やましろ観光大使の
横山由依さんも登壇！



5/24(土)
～25(日)

ロボット・アバター・ICTフェス

けいはんなで生まれた技術と好奇心旺盛な住民がとものつくる新時代の
お祭り！ドローンやロボット、アバターが街角で出会う2日間。

24(土)

ドローン&XRフェス 📍 けいはんなオープンイノベーションセンター

屋内でのドローン操縦体験や、国内外の人とアバター同士でコミュニケーションしてみよう。

25(日)

アバターチャレンジ2025

～ アバター（遠隔操縦ロボット）によるパレード&競技会 ～

📍 精華大通り、日時計広場、記念公園東広場 ほか

プラザから遠隔操縦するアバターロボットが8市町のキャラクターフィギュアを載せて、プラスバンドとともに精華大通りを行進。「じゃんけん」「地藏盆」「買い物」「スラローム」「山登り」の順で5種目の競技に出場します。ひととロボットの連携プレーをぜひ間近で応援してください。



けいはんなアバターチャレンジ



<https://www.avatachallenge.org/>

体験コーナーはこちらからお申込みいただけます



https://www.avatachallenge.org/?page_id=4170

6/13(金)
～15(日)

ウェルビーイングフェス

📍 けいはんなプラザ、けいはんな記念公園

「健康」「食」「環境」「こころ」をキーワードにウェルビーイングの未来を考える展示や成果発表、講演会、茶会、映画祭を開催します。

- 健康：身体やこころの測定で「健康」の見える化や、最新医療技術・支援ロボットの最先端を体験
- 食：未来食・古代食・発酵・茶・和食文化などを通して研究開発成果を披露
- 環境：カーボンニュートラル社会の実現に向けDAC技術や光る植物を展示
- こころ：いのちの映画祭、茶道裏千家前家元 千玄室大宗匠による講演、metaCHA(メタバース茶会)など



©株式会社福寿園

けいはんな万博 2025

「未来社会への貢献 ～次世代への解～」

EVENT SCHEDULE

最新情報は
WebをCHECK!



<https://keihannaexpo.org/>
※予定は変更となる可能性があります



5月
May



1(木)

オープニングイベントのサテライトセッション
「けいはんな万博へようこそ」
“Join Us at the Keihanna EXPO!”
📍 大阪・関西万博会場 関西パビリオン(多目的エリア)

5(月祝)

けいはんなお豆腐狂言 KYOGEN
未来につなぐ伝統の笑い
【サイエンス&アート】
📍 けいはんなプラザ

24(土)
25(日)

ロボット・アバター・ICTフェス
【ロボット・アバター・ICT】
📍 けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)、
精華大通り、日時計広場、記念公園東広場ほか
● ドローン&XRフェス
● アバターチャレンジ2025
～ アバター(遠隔操縦ロボット)によるパレード&競技会 ～

24(土)
6/29(日)

けいはんなみゅーじあむ(第二期)
【サイエンス&アート】
📍 けいはんな記念公園

26(月)
6/21(土)

ロボカフェ
📍 けいはんなプラザ

4月
April

13(日)

開会式
📍 けいはんなプラザ
● テーマ曲・合唱曲披露ほか

19(土)
5/18(日)

けいはんなみゅーじあむ(第一期)
【サイエンス&アート】
📍 けいはんな記念公園

23(水)

けいはんな万博 in 夢洲(春)【広域連携】
📍 大阪・関西万博会場 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ

27(日)

ジャズフェスティバル
【サイエンス&アート】
📍 けいはんな記念公園



29(火祝)

公園でバレエ【サイエンス&アート】
📍 けいはんな記念公園

30(水)

けいはんな万博 in 夢洲
【ウェルビーイング】【スタートアップ】
📍 大阪・関西万博会場 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ

6月
June

1(日)

音楽公演「プチコンサート万博バージョン」(仮)
【サイエンス&アート】
📍 けいはんなプラザ

13(金)
15(日)

ウェルビーイングフェス
【ウェルビーイング】
📍 けいはんなプラザ、けいはんな記念公園
● 茶道裏千家千玄室大宗匠の講演会、けいはんな万博2025記念茶会
● 映画祭(MBT映画祭総集編ほか)
● 講演会(フードテック、健康医療、環境)
● 展示(未来食・古代食レストラン、フードテックPF)
● 展示(健康・医療テクノロジー)
● 展示(環境、デジタルグリーン、カーボンニュートラル)



28(土)

バイオインタラクション研究会(BIRA)
【国際会議】
📍 けいはんなプラザ
● ワークショップ
● 講演会(宇宙と生命・タンパク質)

7月 July

18(金)

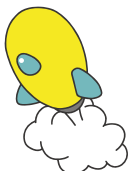
第1回デコーデッド・ニューロフィードバック
国際シンポジウム
【国際会議】
📍 けいはんなプラザ

25(金)

スタートアップフェス
【スタートアップ】
📍 けいはんなプラザ
● PoC成果発表、ピッチ会ほか

28(月)
8/3(日)

関西パビリオン京都ブースでの出展
📍 大阪・関西万博会場 関西パビリオン京都ブース



8月 August

1(金)
3(日)

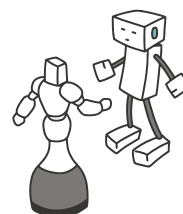
きょうと国際学生サミット
【国際会議】
📍 けいはんなプラザほか

4(月)
6(水)

けいはんな地球環境ユースサミット
【国際会議】
📍 けいはんなプラザほか

8(金)
9(土)

平和をテーマとした
「けいはんな映画劇場」
📍 けいはんなプラザ



9月 September

8(月)
11(木)

けいはんな大学サミット
【国際会議】

13(土)
15(月祝)

「生命の起源」国際シンポジウム
【国際会議】
📍 けいはんなプラザほか

17(水)
18(木)

「Global Startup EXPO 2025」に参加
📍 大阪・関西万博会場 EXPOメッセ

19(金)

けいはんな万博 in 夢洲(秋)
【広域連携】
📍 大阪・関西万博会場 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ

21(日)

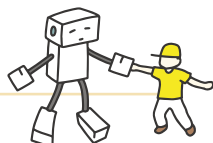
国際シンポジウム2025
「不確実性と共に生きる一次世代への鍵」
【国際会議】
📍 けいはんなプラザ

27(土)
10/13(月祝)

木津川アート2025
【サイエンス&アート】
📍 木津川市役所周辺、けいはんな精華西木津地区

30(火)

けいはんな万博 in 夢洲【スタートアップ】
📍 大阪・関西万博会場 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ



10月 October

2(木)

けいはんなビジネスメッセ2025
📍 けいはんなプラザ

2(木)
3(金)

京都スマートシティEXPO、フードテックEXPO
📍 KICK

2(木)
3(金)

ATRオープンハウス
📍 ATR

4(土)

けいはんなR&Dフェア2025【サイエンス&アート】
📍 けいはんなプラザ

4(土)

創作ダンス公演【サイエンス&アート】
📍 けいはんなプラザ

4(土)

観月の夕べ【サイエンス&アート】
📍 けいはんな記念公園

5(日)

オーケストラコンサート【サイエンス&アート】
📍 けいはんなプラザ

11(土)

閉会式
📍 けいはんなプラザ
● けいはんな宣言 ● 世界を結ぶけいはんな大合唱ほか

12(日)

せいか祭り、子ども祭り
📍 けいはんな記念公園、けいはんなプラザほか

社会見学

の 学研都市

木津川市編

地域がつながる、アートとつながる、木津川アート!

木津川市では2年に1回、『木津川アート』という芸術祭が開催されているよ。

このイベントの見どころは、アート作品が配置される場所が大きな美術館などではなく、普段いろんな人たちが暮らしている街の中に展示されるということ。開催期間中はいつもの街並みや風景の中にアート作品が展示されるので、誰もが暮らしの中で現代アートにふれることができるイベントなんだって!今回は、そんな木津川アートについて詳しくお話を伺ってきたよ。



木津川アート参加アーティストによる
ワークショップを今年も開催予定!

「2010年に始まり隔年で開催している木津川アートですが、会場は毎回ちがう場所を設定しているんです。古民家や会社の敷地内、工場跡や商業施設の一角などを使って展示を行ってきました」と語るのは、プロデューサーの林さん。地域の人たちが、自分の暮らす街についてもっと知るきっかけになればという気持ちもあって、地元のあらゆる場所を会場に設定したそうだよ。

「参加される作家の皆さんは、実際に展示場所を決めるところから参加されます。実際の場所を見て、その場所の風土や歴史、建物の個性、会場となる企業の研究内容などからヒントを得たりインスピレーションを受けて、作品を制作されます。」と、ディレクターの加藤さんがお話されていたよ。今まで展示された作品はどれも現代アートの作品ではあるけれど、その景色や日常になんとか馴染んでいるものがたくさんあったよ。それは、実際の展示場所との親和性を考えて作品づくりをされていたからなんだね!



さらに、前回の木津川アートの作品材料の中には木津川市にある金属工場から提供された廃材や、織物協同組合から提供されたふすま紙も。他にも同じように地元の企業や研究所から提供されたレンズやボタン、柿渋などが材料として作品につかわれていたよ。場所だけでなく、作品自体も地元根付いた材料によって作られているんだ。

「とても楽しいイベントではあるのですが、始めたときには新しいものを地元の人に受け入れてもらう難しさもありました。けれど、街で暮らす人に一生懸命説明して理解して頂くと、みなさんとても協力してくださるんです。イベントと街との関係性づくりは本当に大事だと思います。」と林さん。その街に暮らす地元の人が、現代アートを通して街の魅力を再発見できる『木津川アート』。作品自体だけでなく、使われている材料や場所などもじっくり鑑賞すると、より深く街とアートにふれることができそうだね!

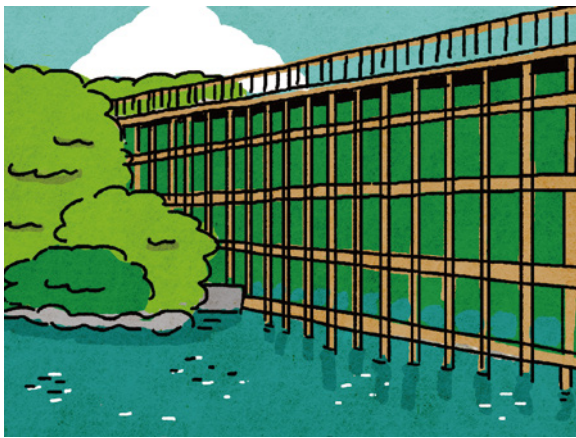
inspiration...

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町(精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市)を訪問します。
けいはんなView Vol.64では、木津川市を訪問しました。

木津川アート2025開催!

2025年は、木津川アートの開催される年! 開催日は9月27日(土)~10月13日(月・祝)。
今回の木津川アートは「けいはんな万博」とのコラボレーション開催で「サイエンス&アート」の分野のイベントなんだって。
だから今回の会場は、木津川市役所周辺、けいはんな精華・西木津地区の2エリアの各スポットが予定されているよ。
そのうちの一部をここでご紹介!

けいはんな記念公園「水景園」



けいはんな学研都市の文化の拠点としてつくられた日本庭園。池にかかる「観月橋」は10mほどの高さがあり、橋から庭園を一望できるよ。この自然と現代アートがどんな調和を見せるんだろうね!

木津川市役所1階住民活動スペース



木津川市に暮らす人は訪れる機会が多いであろう、市役所。誰もが知っている空間だからこそ、どんな作品が展示されるかが気になるところ! 屋内だから、天候を気にせずにゆっくり作品を楽しめそうだね。

他にも、けいはんなプラザ、けいはんなオープンイノベーションセンターやドン・キホーテ、オムロン(株)京阪奈イノベーションセンタと地球環境産業技術研究機構(RITE)付近のエリアが会場として予定されているんだって! 今回は木津川市だけでなく、けいはんなエリアの企業や研究所、地場産業、教育機関の協力を得て、新たな現代アート作品が制作・展示されるそうだよ。わたしたちの街とアート作品がどんな風に共存するのか、想像しただけでもワクワクしちゃうね!

INFORMATION

木津川アート

木津川アート2025は、けいはんな万博とのコラボレーション開催!
展示場所の詳細など決まり次第、ホームページにて順次情報をアップしていきます!
サポーターも募集中です! 親子での参加也大歓迎! サポーター登録した方には記念品をプレゼントします。

実施期間 2025年9月27日(土)~10月13日(月・祝) 17日間

実施場所 木津川市エリア、精華町エリア

kizugawa-art.com



イラスト・記事制作 おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中!
X / Instagram @ohyeah_saki

けいはんなから夢洲へ

Future Life Expo

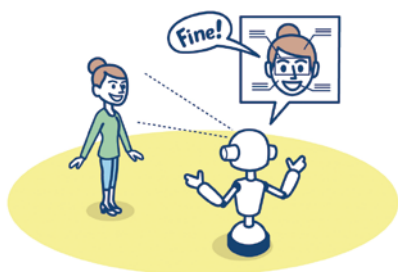
理化学研究所 ガーディアンロボットプロジェクト 5/20~26

こころ+ロボット・ラボ ～人がロボットに「ありがとう」という日～

📍 フューチャーライフヴィレッジ

ロボットと人が共存する未来社会を見据え、主体的に人と関わり、汎用的に人を支援する自律ロボットの実現を目指す研究開発を進めています。万博では人との潜在的な意図の推察、ロボット自身の経験から得た記憶を利用した人とのコミュニケーションを自律的におこなうロボットの実証を行います。

<https://grp.riken.jp/expo2025>



CCHサウンド

全会期中

軟骨伝導技術を活かした スタッフ、音声ガイド用イヤホン

📍 日本館(スタッフ用インカム)・
パソナグループパビリオン「PASONA NATUREVERSE」

長時間の使用でも快適さを維持できる点や、耳穴を塞がずに周囲の音を拾える等の特徴を活かし、万博史上初めて、軟骨伝導技術を活用したスタッフ用インカムや、外国人観光客や高齢者を対象とした多言語翻訳機能付き音声ガイド用イヤホンとして提供します。



<https://cch-sound.co.jp/>



Signature Pavilion

大阪大学 石黒浩教授プロデュース

全会期中

「いのちの未来」

「いのちの未来」は、ロボット工学の第一人者である、大阪大学 石黒浩教授(ATR石黒浩特別研究所客員所長)がプロデュースしています。人とロボットの共生をテーマにした展示を通じて、未来の「いのち」の在り方を探求します。

バーチャル空間やロボットやアバターを活用し、来場者に新しい生き方の可能性を提案すると同時に、技術の進化がもたらす新しい価値観や幸福感を体験する場として設計されています。

石黒教授のリーダーシップのもと、多様な企業やクリエイターが協力

して、未来の社会や製品、日本文化の在り方を展示します。



©FUTURE OF LIFE/EXPO2025

<https://expo2025future-of-life.com/>



Green Expo

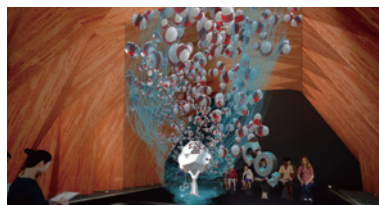
RITE

全会期中

RITE未来の森

RITE未来の森は、環境技術の最先端を展示するショーケースです。大気中の二酸化炭素を直接回収するDAC技術(Direct Air Capture)や、CO₂を地中に貯留するCCS技術(Carbon dioxide Capture and Storage)を紹介します。

「未来の森」とは、自然の森のように大気中のCO₂を吸収する技術の象徴です。最新の立体映像技術を用いて、地球温暖化対策の重要性和技術の詳細を来場者に楽しく伝えます。



<https://rite.or.jp/expo2025/>



大阪・関西万博(夢洲会場)でも、けいはんな発の最先端技術を体感できます。ぜひご来場ください!

Digital Expo

情報通信研究機構(NICT)ユニバーサルコミュニケーション研究所 全会期中

多言語翻訳・同時通訳技術

TOPPANホールディングス(株)が多言語翻訳アプリEXPOホンヤクや、ツアーガイドなどで複数言語に一度に翻訳できるEXPOホンヤクRemote、セミナー等の講演内容を最先端のAI技術で同時通訳するEXPO同時通訳システムを、SoundUDコンソーシアムが場内放送を翻訳してスマホで確認可能なテキストアナウンスを、(株)NTTドコモ(株)みらい翻訳がバーチャル会場での多言語チャットコミュニケーションを提供します。



©Expo 2025

<https://www.expo2025.or.jp/future-index/digital/auto-translation/>



Co-Design Challenge

エースジャパン

全会期中

未利用間伐材を活用したベンチ

SDGsに沿った取組として、未利用材(伐採後に捨てられる枝や葉、樹皮)を再利用しています。万博の公式キャラクターであるミャクミャクをフィーチャーしたデザインです。会場内に2000脚設置されるので、ぜひご利用ください。



DOUBLE CLUTCH

fortmarri



提供:2025年日本国際博覧会協会

※画像はイメージです。実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。また本画像の無断転載・複製は一切お断りします。

けいはんなから夢洲へ

4/23(水)

体験展示&ワークショップ

けいはんな万博in夢洲

～しろろ!ふれよう!けいはんな～

未来社会の課題を解決する技術は、けいはんなにあります!
大学やスタートアップ企業の体験展示やワークショップを通して、体感しに来てください。

【体験展示】

出展者(50音順)

- AC Biode
- けいはんなアバターチャレンジ
- 奈良先端科学技術大学院大学
- PITTAN
- フィトンチッドジャパン

【ワークショップ】

出展者(50音順)

- 新日本理化
- 東レ建設
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 量子科学技術研究開発機構 関西光子科学研究所
- 和束町

ほか、出展物にまつわるクイズラリー等も開催予定!

📍 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ



<https://keihannaexpo.org/hp/>

4/21(月)～28(月)

展示

光る植物(LEP)を見に行こう!

Reborn Challenge
Resona Mirai Color 夏 ミライのメトロポリス

植物にキノコ等の発光遺伝子を組込んで、自ら光を放つようにすることで、植物を光源として利用する革新的な技術Light Emitting Plant (LEP) を体感できるチャンスです。

「リボーンチャレンジ」では、新技術開発などに取り組む、中小企業・スタートアップの技術力や魅力を週替わりで展開します。けいはんなからは、他にも数社の出展が予定されています。

📍 大阪ヘルスケアパビリオン 展示・出展ゾーン



発光植物のブーケ

4/30(水)

けいはんな万博in夢洲

学研都市「けいはんな」を通して見る未来社会

～先端技術が躍動してシームレスな社会を創造する 文化と学術の研究都市～

📍大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ

けいはんなでは、グローバルなスタートアップ(SU)を支援するプログラム:KGAP+や、近隣の住民や企業とSUが協働した実証実験:PoCが実施されています。

現在進行中のPoCやKGAP+、並びに先端的医療やモビリティの取組をご覧いただき、けいはんなの特長である「強力な研究開発力」「住民参画したPoCフレンドリー都市」「広範なグローバル連携」が創る未来社会を体験してください。

【ウェルビーイングの取組】🕒11:00～12:00

■奈良県立医大 ■四條畷市

【PoCフレンドリー都市けいはんな】🕒13:30-15:00

<けいはんなSU> ■eSep ■PITTAN
■サントリーウェルネス
<海外SU> ■SG-AITEK ■OVA
■Altum View

【グローバルSU支援プログラム】🕒15:30～18:00

<国内SU> ■FingerVision ■Veritus
<海外SU> ■Adventum ■Sultech ■Jolt
■AirSEM ■ImpersonAlly
■FreeBionics ■Neuinx



けいはんなの先端技術が作る未来社会 in夢洲

シンポジウム&
デモ・体験型展示

5/1(木)

けいはんな万博へようこそ

けいはんな万博2025の見どころ紹介

アバターMCが、けいはんなで開催されるの4つのフェスティバルや夢洲会場での参加イベントの見どころを映像・マンガなどで紹介します。

けいはんな万博のテーマ曲「飛天の奏～けいはんなSTORY～」、テーマソング「日時計～けいはんなハーモニー」の演奏や会場のお客様との大合唱、夢洲会場からの遠隔操作アバターロボットによるけいはんな観光などを予定しています。

アバターMC：水瀬ゆず



プレゼンテーション

📍関西パビリオン 多目的エリア

実証実験支援プラットフォーム「Clubけいはんな」に 倫理審査委員会を設置

2024.12.3

エビデンスの堅牢性と利用価値の最大化を目指します

住民の視点を取り入れた新たなサービスやまちづくりを推進するために2016年に設立されたClubけいはんなは、産官学との協力により革新を続けています。

このたび、実証実験のエビデンスの堅牢性と利用拡大を目指し、けいはんな学研推進機構倫理委員会（委員長：福島内科医院長 福島豊医師、副委員長：関西医科大学 服部文幸教授）が設置され、12月3日に厚生労働省への登録を完了しました。今後は、倫理委員会で承認した試験計画で、健康意識の高い住民と共に、ヘルスケア産業の創出を通じて「暮らせば健康になるまちづくり」の実現を目指します。



- けいはんな地区の住民約3,700人で構成
- 誠実で信頼できるボランティアからモニター基準に合致する候補者を選定し、ヒト試験を格安に、簡単に実施
- KICKなどの大型フィールドを用いて運動等の介入試験も可能

研究開発に生活者目線を活かす～Clubけいはんな 2024年度活動実績から

ものづくりや研究開発を進めるには、地域住民の幅広いアイデアや意見も大変重要です。Clubけいはんなでは、インターネットアンケートや参加型調査を通じて、生活者目線の声を反映させながら新しい産業や商品の開発を進めています。

災害が多発する昨今、リスクを自分事としてとらえる取組が防災の観点で重要となっており、「水害リスク自分事化のための体験ワークショップ」が奈良先端科学技術大学院大学主催により複数回開催されました。多種多様なデバイス（スマートフォン、タブレット、VRゴーグル等）によるVR/AR体験から水害に対する印象をアンケート回答によって評価しました。

この他にも、サポート会員の協力を得て、ワークショップや実証実験を実施しています。皆さんの協力が、新しい未来を創り上げる鍵となります。



Clubけいはんな
サポート会員募集中！
<https://www.kri.or.jp/rdmm/club/>



奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) が 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択

2025.1.29

『研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、 国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学』

J-PEAKSは、地域の中核大学や特定分野に強みを持つ大学が、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速をもって研究力強化を図る環境整備を支援し、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

NAISTは、分野横層型AI自律研究システムで駆動するオープンイノベーション・プラットフォームの樹立および東南アジアとの連携により、生産年齢人口減少社会の自動化・省力化技術とこれを担う博士人材育成で社会変革を先導する大学院大学を目指します。

事業期間は令和7年4月から令和12年3月までの5年間で、総額55億円の予算が予定されています。

参画機関：

国際電気通信基礎技術研究所、国立情報学研究所、情報通信研究機構、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、東京科学大学、奈良県立医科大学、カリフォルニア大学デービス校、スイス連邦工科大学、ストラスブール大学、ボン大学、フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン＝ニュルンベルク、ガジャマダ大学、アイビービー大学、インドネシア大学、国立研究革新庁、マラヤ大学、マレーシアサイエンス大学、トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学、ハノイ科学技術大学、ベトナム科学技術院 バイオテクノロジー研究所、ベトナム科学技術院 物質科学研究所、フィリピン大学 デリマン校、アテネオデマニラ大学

貴重なアニメ原画・中間成果物をデジタルアーカイブ化 タブレット端末で閲覧する資料展示会を開催

2025.2.23

精華町アニメ・アーカイブ・データ化及び利活用実証事業（通称：精華ArchiveD（アーカイブド））は、産学官連携により、アニメ資料の中でも重要な、アニメの動きを創り出す作画資料を全てデジタルカメラ撮影により高画質データ化し、展示会、教育、研究などに利活用していくものです。撮影作業は精華町在住の人たちが行っています。

その成果をお披露目する「精華町アニメーション資料展示会〜メアリと魔女の花〜より」がけいはんな記念公園で開催されました。多くの人が訪れ、貴重なアニメ作画資料データを体感しました。



SEIKA
rchiveD
SEIKA Anime Archive Digitize PoC

<https://www.1billing.jp/seikaarchived/>



「フードテックで“つながる”食の未来」に向けて 産学官連携や異業種交流による共創のヒントを探る

2025.2.26



学研フードテック共創プラットフォームでは、京都フードテック研究連絡会議と合同で「つながる」をテーマに情報交換会を開催しました。

食を取り巻く環境が大きく変化する中、課題解決のためには、それぞれの業種等が持つ強みを活かし、イノベーションを創出する異業種間や産学官の連携が必要です。トークセッションでの事例紹介やPRタイム、試食付きの交流会は大盛況となり、「どのような連携をすればいいのか」、「その相手をどう見つけるのか」、そのヒントを見つけ、ネットワークを広げる機会となりました。

学研フードテック共創プラットフォーム
<https://keihanna-inv-hub.jp/foodtech/>



超巨大な太陽くじらさんを浮かばせよう！ けいはんな記念公園の芝生広場でアートを体感

2025.3.1

国内外で精力的に活動するアーティスト・奥中章人氏（木津川市在住）による、アート体感型のワークショップ（WS）がけいはんな記念公園で開催され、多くの子どもたちとその保護者などが参加しました。このイベントでは、あそびを通じて想像力や知的能力を育むことを目指し、10m級のくじら型気球を作った後、芝生広場に運び、空気の手で浮かばせました。

空気や光、日常では見落としてしまいそうな自然界の仕組みを学んだ上で、参加者同士のみならず、広大な公園の環境とも「共感」したWS。それぞれの感性を大切に教育普及のひとつとなりました。



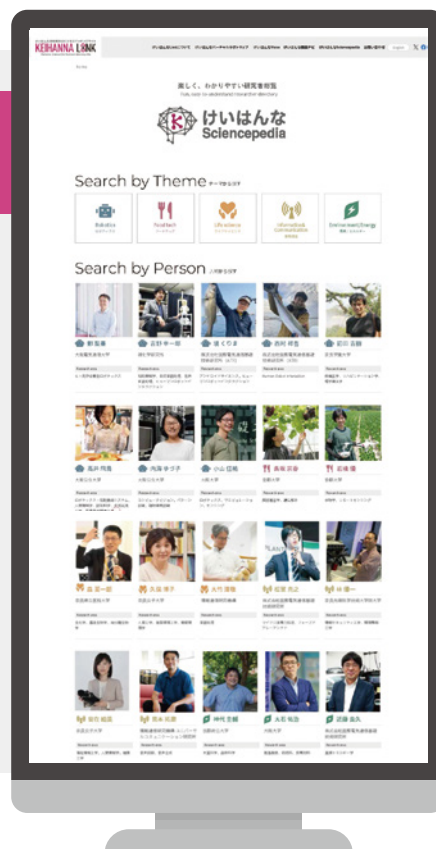
「けいはんなSciencepedia」 4月 リニューアルオープン!!

けいはんな学研都市の研究者の知見を発信し、共同研究や技術連携を促進するプラットフォーム。

研究者のプロフィールや研究内容をわかりやすく紹介し、イノベーションの創出を支援します。

また、最先端の研究開発を5つのテーマでご紹介。学生や一般の方々に動画で魅力を伝えています。

けいはんな学研都市の知的ネットワークを活用し、未来を切り拓く「けいはんなSciencepedia」をぜひご活用ください。



Event Information

4/25(金) 14:00~18:00

第49回 けいはんな「エジソンの会」

2024年ノーベル賞 AI(人工知能)研究が初の快挙

- 講演者①：「人工ニューラルネットワークによる機械学習 ～その発明と応用～」
上田 修功氏(理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長)
- 講演者②：「AlphaFold ～タンパク質の立体構造予測がもたらす未来の創薬・医療～」
大上 雅史氏(東京科学大学 情報理工学院 情報工学系 准教授)
※講演後に、参加者の皆さんとのインタラクティブセッションがあります
- 会場：(公財)国際高等研究所 レクチャーホール
- 定員：50名(会場参加のみ)
- 参加費：3000円 学生(大学院生を含む)は無料

申込・詳細は
こちら▶



上田 修功氏



大上 雅史氏

- 申込み：ホームページからお申込みください。(3月下旬に受付開始予定)
- 問合せ：エジソンの会事務局 edi-four@ias.or.jp
- 主催：(公財)国際高等研究所
- 後援(予定)：(国研)理化学研究所、(公財)関西文化学術研究都市推進機構

5/13(火) 18:00~20:00

第96回 満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

「資本主義の力と文明の行方」(仮題)

- 講演者：岩井 克人氏(東京大学名誉教授)
- 会場：(公財)国際高等研究所 コミュニティホール
- 定員：40名(会場参加)、100名(オンライン参加)
- 参加費：無料

申込・詳細は
こちら▶



- 申込み：ホームページからお申込みください。(4月上旬に受付開始予定)
- 問合せ：ゲーテの会事務局 goethe0828@ias.or.jp
- 主催：(公財)国際高等研究所

5/20(火)・21(水)・22(木)

NTT コミュニケーション科学基礎研究所 オープンハウス2025のご案内

知の交響で奏でる みんなの未来

招待講演1件に加え、所員による研究講演5件と研究展示20件を通じて、当研究所の最新の研究成果を公開いたします。
講演・ポスター・デモ等を通じた、一般の方々にも親しみやすい内容となっております。

- 会場：NTT西日本 QUINTBRIDGE・PRISM
(JR等「京橋」駅から徒歩約10分 NTT WEST i-CAMPUS内)
- WEBサイト：<https://www.kecl.ntt.co.jp/openhouse/2025/>
※時間帯や入場方法の詳細を随時公開します
- 問合せ：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 E-mail: cs-openhouse@ml.ntt.com



詳細はこちら▶



けいはんな 人物図鑑

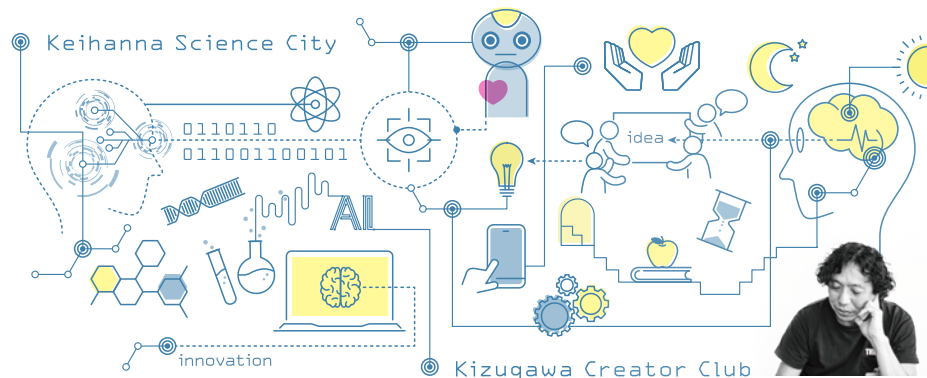


Photo by Yumi Iwai

シンボルマークに込めた想い

けいはんなはこの地域が有する様々な要素が、レイヤーのように重なりながら、過去から現代を経て、さらに未来へ繋がっている、最先端の技術や叡智と住民の暮らしが近接した地域です。

この地域で〈けいはんな万博〉が開催されることをイメージした時、地域の太陽のように輝く存在となるものがあると考えました。誰もが参加できる祭典、老若男女、多様な人たちが楽しめ、親しみを感じ、常にワクワクするような、この先も記憶に残る〈けいはんな



な万博〉のシンボルとなる、けいはんな自体が変化し成長し続ける、少し先の未来を感じられる不思議な存在であることを表現したのが、このシンボルマークです。けいはんな学研都市のkei-han-naの頭文字3つが

集まってひとつの存在になる、万博の姿が見えるカタチにしました。この地域で開催される万博＝祭典は、けいはんな学研都市が目指す「世界の未来への貢献」と「知と文化の創造」というビジョンへのマイルストーンとなるもので、住民や万博に関わる全ての人々にとっては、'70年の大阪万博のようにいつまでもみんなの心に残るものであって欲しいと考えていたので、シンボルマークに込めた想いや意味を誰にでも伝わりやすく、見るだけでワクワクしてくるような、楽しいイメージをストレートに表現した造形になっています。

未来が生まれる身近な場

万博を機に老若男女、たくさんの出会いの機会があるでしょう。私たちが暮らしている街にも、非日常な出来事が起きるかもしれない。新たな未来はそんな小さな変化から生まれると思います。未来は近くに在り過ぎて気づいていないだけかも...



idea x innovation



みらるる

地域で愛されるみらるるに

シンボルマークからキャラクターが生れ、たくさんの応募の中から名称が“みらるる”になったと聞き、まず音の響きが愛らしなと感じました。luluという言葉には、多言語で光や輝き、大切な、可愛いものという意味があると知り、地域の輝くシンボルとして「みらるるのけいはんな」と覚えてもらえるように、人と社会の絆となって欲しい。例えば、タイムマシンで少し先の未来を覗き見た時に、その時代、時代でも愛される存在であって欲しくて嬉しそうですね。

デザインがつながりと社会を再生する NEIGHBORHOOD

会話からはアイデアが生まれ、アイデアはプロジェクトを生む。そしてプロジェクトは周囲にもポジティブな変化を生み出す。

会話による小さなつながりは、やがてひとつの輪となり、小さな輪同士がじわじわとリンクして大きな輪となっていく。

地域に生まれた大きな輪からは、新たな文化や循環＝プロジェクトが生まれる。



月一回、デザインに関する相談会も開催。木津川クリエイター部の最新情報はこちらから

きたいと考えています。

デザインは伝えたい想いや考えを“カタチ”にできる

studiomeets 代表
木津川クリエイター部 部長

松田 祥宏
Yoshihiro Matsuda

1966 年京都市生まれ、木津川市在住。
デザイナー、デザイン事務所
studiomeets 代表。
関西学院大学法学部卒業。領域に捉われないデザインを通じて社会との関わり方を探究・実践。デザイン専門学校講師としてクリエイティブ人材の育成にも関わる。けいはんな万博のシンボルマークを制作。





けいはんな学研都市 広報誌・けいはんなView[ビュー] March 2025 Vol.64

編集・発行 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
関西文化学術研究都市建設推進協議会
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7
けいはんなプラザ・ラボ棟3階
TEL.0774-95-5105 FAX.0774-95-5104
発行責任者 河合 智明
ホームページ <https://www.kri.or.jp/>
制作・印刷 株式会社チャンピオンシップス



読者アンケートに
ご協力ください



夢洲駅からけいはんなプラザへのアクセス

